

地区老人クラブ紹介

大塚老人クラブ

会長 小林 英生

大塚老人クラブは4クラブで会員約270名です。以前は5クラブあったそうですが会員数が減って50名が維持できなくなつて合併しました。これは全国的な傾向のようです。私たちも増員対策として地区の区議員になった60才以上の人々に加入をお願いしています。新しく老人クラブの役員になった人達が積極的に入会を勧めていますので大きな減少はしていないようです。魅力ある老人クラブにするために役員一同努力しています。

カラオケは公民館で4組がそれぞれはりきってやっています。寿楽荘やふれあいセンターなどに行った時は、着いたら早速カラオケが始まっています。始まり帰る時まで歌う人が絶えません。

親睦旅行も楽しい行事です。今年も6月に伊豆の観音温泉に行きましたが皆さんそれぞれお菓子を持ってきて前後左右から差入れがあり、カラオケも充分堪能してきました。

役員で観葉植物を栽培している人の指導で観葉植物の寄植えを習いました。完成品は各自の玄関などにかざっています。

又、会員で写真を趣味にしている方が仲間の活動状況を写して12月18日寿楽荘の日に発表して下さいました。

最近老人の交通事故が増えているので、交通安全教室を開催し、少しでも事故を減らそうと努力しています。そのせいか老人クラブの会員は事故率が少ないそうです。これからも事故防止に努めていきたいと思っています。

私も今年初めて役員になって、一生懸命勉強中ですが、幸い先輩諸姉が親身になって教えてくれますので行事が楽しく果たせます。老人クラブは元々女性優位ですが、私たちの役員は24名中20名が女性です。元乙女たちの元気で華やかなエネルギーをいただいて頑張



西浦悠々会

会長 三田 武

西浦悠々会連合会は第一悠々会を初め第二、第三とつづき第四と第七が抜けて第五、第六、第八と6クラブあります。一つのクラブは60人前後です。1クラブ会長1名、副会長2人、班長5名という構成です。年間行事は他地区とあまり変わりありません。

西浦町は、蒲郡市の西南の先端にあり海につきでた半島で、景観がすばらしい海岸線を三方海にかこまれており、恵まれすぎた地形です。港は大小四つの港があり、漁船、レジャー船、つり舟、貨物船など数多く出入りしております。山から海辺まで温泉旅館が立ち並び観光客、磯や防波堤にはつり人、砂浜には、海水浴シーズンともなると大変にぎやかです。その反面、海岸の汚れもおびただしく、北の風以外は東西南と何風が吹いてもゴミが海岸に吹きよせられて来ます。とくに大雨、台風のすぎた後にはゴミの山となります。毎年、海岸クリーン活動を春二回、秋二回、総代会その他各団体の方たちとともに『海岸きれい作戦』が行われます。悠々会クラブの役員、会員で22名ぐらいでいつも参加しております。海岸歩きも年令とともに大変しんどくなっていました。きれいな海風を吸って健康に良いと思って皆様がんばってくれています。

健康のための運動として、グランドゴルフを毎週水曜日に、又、大知柄運動広場の管理業務を委託しているので夏場は草刈りを週に1回ぐらいエンジン付の芝刈機で公園中を歩き回ります。ゲートボールは雨降り以外は毎日練習、これも神社の境内ですので落葉の掃除が毎日練習前に5、6分ぐらいかかります。

最後に西浦公民館周辺の草刈清掃除春秋一回づつおこなっております。



もっと楽しく。